

全校生で激励・応援しましょう ～野球部・ライフル部壮行会～

7月6日（金）、期末考査終了後に壮行会を行いました。

（学校長挨拶から抜粋）

氷上西高校を代表して高校野球甲子園大会兵庫県予選に出場する野球部と、広島で行われるライフル射撃全国大会に出場するライフル部の選手を全校生で激励し、応援したいと思います。

野球は団体競技なので、小規模校は圧倒的に不利です。生徒数が少ないため、野球経験者が少ない、選手層が薄いというのがその理由です。でも、小規模校には小規模校の良いところもあります。

全国の高校野球部員で、3年間で一度も公式戦のベンチにも入ることがないという生徒が全体の半数以上いるそうです。氷上西高校では、1年生から公式戦に選手として出ることができます。大規模校では3年間で一度も経験できないような大きな舞台で活躍する機会が、小規模校にはたくさんあります。たくさんの試合に出てプレーできることが小規模校の大きなメリットです。

ライフル射撃は個人種目なので、小規模校のデメリットはかなり解消されますが、全国大会に出場するためには、かなり高いレベルのライフル射撃の技量が要求されます。しかも、本番の緊張の中で、どれだけ日頃の練習どおりミスなく正確にできるかという点では、メンタル面の強さが大きく要求されます。

野球部、ライフル射撃部とも毎日放課後に、土曜日に本当に良く練習をしています。

「本番でも、いつもどおりに、練習どおりにやれば良い」とよく言われるけど、なかなかむずかしいです。大きな大会では緊張するし、相手がとても強そうに見えて不安になります。何かに挑戦しようとするとき、日頃とは違う場面に立つと、誰でも緊張して心臓がドキドキします。失敗するかもしれないと思うと不安になります。ミスすると冷や汗が出るし、どうしようかとあせってしまいます。誰でもそんな経験があると思います。

しかし、失敗を恐れて何もしなければ、あとで必ず後悔することになります。たとえ結果が思ったようにうまくいなくても、見逃しで三振するよりも、思いきりバットを振って三振する方が悔いは残らないのではないのでしょうか。その時はうまくいなくて落ち込むけど、あとで考えると、その経験が大いに役立ち、次の成功につながります。

成功の反対は失敗ではありません。成功の反対は何もしないことです。何かをやらない言い訳はいくらでも見つかります。「どうせ無理」と自分に言い訳をして挑戦しなければ、絶対に成功はありません。ここにいる全校生のみんなもぜひ何かに挑戦してほしいと思います。小規模校には、チャレンジの機会がたくさんあります。

それでは、7月、8月に大きな舞台で挑戦する野球部、ライフル射撃部の選手のみなさん、氷上西高校の代表として、悔いの残らないよう、思い切りがんばってきてください。全校生で応援しています。